

外用殺菌消毒剤

日本標準商品分類番号：872619

薬価基準収載

# ネオ消アル「ヨシダ」

イソプロパノール添加エタノール液

メタノールを含有しません



**禁忌**（次の部位には使用しないこと）

損傷皮膚及び粘膜

〔損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。〕



ヨシダ製薬

# ネオ消アル「ヨシダ」



手指・皮膚



医療機器



飲用不可



火気厳禁

## イソプロパノール添加エタノール液

日局エタノール60%、日局イソプロパノール18%を含有する外用殺菌消毒剤です。本剤の微生物に対する効力は消毒用エタノールに匹敵します。

### 特 徴

- メタノールを含有しないイソプロパノール添加エタノール液です。
- 殺菌時間、抗菌スペクトルとも消毒用エタノールに匹敵します。
- 原料に酒税加算額が課されないため、経済的です。
- 容器は減容して廃棄できます。(減容ポリ 500mL)
- 皮膚刺激性テストにおいて無刺激物と判定されました。
- 青色に着色されておりますので、他剤との識別・誤用防止に役立ちます。
- 識別性向上のため全側面に製品名を表示しました。(減容ポリ 500mL)



### 安 全 性

#### 単回経口投与毒性試験におけるLD<sub>50</sub> (マウス)

5週齢の雄・雌マウス(ICR)にネオ消アル「ヨシダ」、消毒用エタノール、70%イソプロパノール液を1回経口投与し、14日間観察したときの死亡率を基にLD<sub>50</sub>値を計算した。

		ネオ消アル「ヨシダ」	消毒用エタノール	70%イソプロパノール液
単回経口投与毒性マウスLD <sub>50</sub> (g/kg)	雄	9.60 (7.73~11.92)*	10.41 (8.28~13.09)*	8.86 (7.34~10.68)*
	雌	11.29 (9.37~13.62)*	12.25 計算不可	9.60 (7.64~12.07)*

\*95%信頼限界

# 有効性

## 各種細菌・真菌に対する殺菌効果

ネオ消アル「ヨシダ」について、各種細菌および真菌に対する殺菌力試験を行った。その結果グラム陽性・陰性菌、真菌（酵母）において30秒以内に殺菌された。

供 試 菌 株			殺菌時間
			ネオ消アル「ヨシダ」
グラム陽性菌	<i>Staphylococcus aureus</i>	ATCC 6538	30秒以内
	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	CI	30秒以内
	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	CI	30秒以内
	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	JCM 2414	30秒以内
	<i>Streptococcus pyogenes</i>	JCM 5674	30秒以内
	<i>Enterococcus faecalis</i>	JCM 5803	30秒以内
	<i>Enterococcus faecium</i>	JCM 5804	30秒以内
	<i>Enterococcus hirae</i>	ATCC 10541	30秒以内
グラム陰性菌	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	ATCC 15442	30秒以内
	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	CI	30秒以内
	<i>Burkholderia cepacia</i>	IFO 15124	30秒以内
	<i>Escherichia coli</i>	ATCC 10536	30秒以内
	<i>Serratia marcescens</i>	JCM 1239	30秒以内
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	IFO 14940	30秒以内
	<i>Enterobacter cloacae</i>	JCM 1232	30秒以内
	<i>Acinetobacter baumannii</i>	JCM 6841	30秒以内
真 菌 (酵母)	<i>Candida albicans</i>	ATCC 10231	30秒以内
	<i>Candida parapsilosis</i>	JCM 1785	30秒以内

CI：臨床分離株

## 各種ウイルスに対する不活化効果

ネオ消アル「ヨシダ」の各種ウイルスに対する効果を検討した結果、エンベロープを有するウイルスは30秒以内に検出限界未満となり、不活化効果が確認された。

ウ イ ル ス 名		不活化に要した時間
エンベロープ有	単純ヘルペスウイルス1型	30秒以内
	インフルエンザウイルスA型	30秒以内
エンベロープ無	アデノウイルス1型	15分
	コクサッキーウイルスA7型	60分以上*
	エコーウイルス11型	60分以上*
	ポリオウイルス1型	60分以上*

\*60分までの反応時間では不活化効果がみられなかった

# 皮膚刺激性

## 皮膚刺激性試験（ウサギ）における皮膚一次刺激性インデックス（PCI）

ウサギの背部皮膚にネオ消アル「ヨシダ」0.5mLを2.5cm角のリント布にしみ込ませて4時間貼布・除去し、一定時間（1、24、48時間）経過後の表皮の状態を観察した。OECD Guideline（1992）の判定基準に従って評点化し、PCI値（皮膚一次刺激性インデックス）を求めた後、AFNOR（1982）の皮膚一次刺激性評価基準に基づいて評価した。1匹あたり2区画、3匹使用した。その結果、ネオ消アル「ヨシダ」のPCI値は0.28であり、AFNOR（1982）の基準によれば無刺激物（Non-irritant）と評価された。

皮膚一次刺激性インデックス（PCI）				
	無刺激物 Non-irritant	軽度刺激物 Slightly irritant	中等度刺激物 Moderately irritant	重度刺激物 Severely irritant
		0.5	3	5
ネオ消アル「ヨシダ」	0.28			
				8

皮膚一次刺激性評価基準（AFNOR 1982）より

# ネオ消アル「ヨシダ」

Neosyouaru "Yoshida" ●イソプロパノール添加エタノール液

貯法：気密容器に入れ、  
火気を避けて保存  
使用期限：3年(ラベルに記載)

日本標準商品分類番号	872619
承認番号	(15AM)0101
薬価収載	2003年7月
販売開始	2003年7月
再評価結果	1983年4月

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌(原則禁忌を含む)、使用上の注意等の改訂にご留意下さい。

## 禁忌(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜〔損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。〕

## 組成・性状

### 1. 組成

日局エタノール60%、日局イソプロパノール18%、添加物として青色1号を含有する。

### 2. 製剤の性状

本剤は青色澄色の液で、特異なおいがある。

## 効能・効果

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒

## 用法・用量

本剤をそのまま塗擦、清浄用として用いる。

## 使用上の注意

### 1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤が眼に入らないように注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
- (2) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。[アルコール蒸気に大量または繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]

### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類/頻度	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹等
皮膚 <sup>注)</sup>	刺激症状

注) このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止すること。

### 3. 臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

### 4. 適用上の注意

- (1) 投与経路：外用にのみ使用すること。
- (2) 使用時
  - 1) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
  - 2) 本剤は血清・膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
  - 3) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
  - 4) 本剤は、引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。

## 薬効薬理

本品は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、真菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

## 取扱上の注意

本剤は、紫外線により退色することがあるので注意すること。

## 包装

350mL、500mL(減容ポリ)、500mL(ガラス)、5L、10L、16L

2007年4月作成



ヨシダ製薬

Y's Square <http://www.yoshida-pharm.com/>

製造販売元  
吉田製薬株式会社  
埼玉県狭山市南入曽951

資料請求先

吉田製薬株式会社  
東京都中野区中央5-1-10  
Tel: 03-3381-2004

②0910  
400050